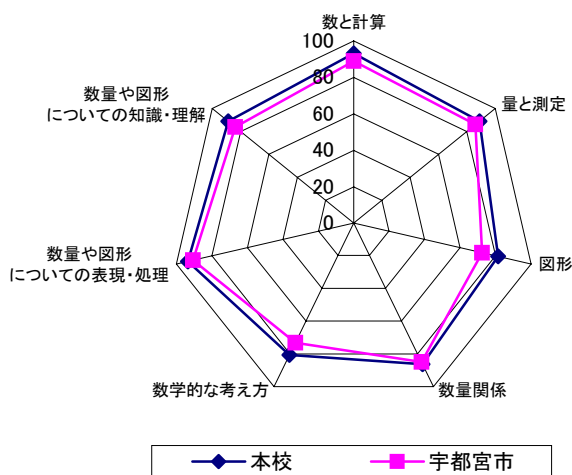


宇都宮市立豊郷南小学校第3学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と計算	93.1	89.0
	量と測定	88.9	85.9
	図形	81.3	72.3
	数量関係	86.3	84.9
観点別	数学的な考え方	80.4	73.1
	数量や図形についての表現・処理	93.4	90.4
	数量や図形についての知識・理解	88.8	83.6



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算 (93.1%)	正答率が93.1%と高く、市の正答率も4.1%上回っていて、計算の仕方を理解しているといえる。大きな数の十進位取り記数法による数の表し方の理解は、十分とはいえない。	計算ドリルや学習プリントを活用した繰り返し学習を進め、計算の理解の定着に努める。個別指導で、かけ算九九やたし算、ひき算を確認し、より正確に計算できるようにしていく。大きな数については、位取り板を活用して、十進法の理解を進める。
量と測定 (88.9%)	正答率は88.9%と高く、市の正答率も3.9%上回っていて、理解しているといえる。図からかさを読み取ることの正答率は93.1%と高いが、市より1.7%低かった。	これからも具体物の操作や実験の測定の測定活動を通して、量についての体感的な理解を深めていく。意欲的に取り組めるように、実生活と関連付ける等の工夫をして、指導していく。時刻や時間については、模型時計や時間の数直線を活用して、視覚的に理解できるようにしていく。
図形 (81.3%)	三角形については、十分理解している。特に、二等辺三角形については市の正答率より14.1%上回っている。球の性質については市の正答率を上回ったものの、十分ではない。	これからも具体物の操作を通して、図形の内容をしっかりとらえさせる。球については、具体物で確認させていく。
数量関係 (86.3%)	棒グラフを読むこと、描くことの問題で、よく理解されていた。	算数で学習したことを社会科や理科の学習でも取り上げ、活用していく。更に、総合的な学習等の発表でグラフを描く等して、生かせるようにさせていき、定着させていきたい。